

古典からロマンへ ピアノとギターが紡ぐ時代を超えた響き

ピアノとギターのためのソナタ ニ長調 作品71

アントン・ディアベリ 作曲

モーツァルトの「魔笛」の主題による変奏曲 (ギターソロ)

フェルナンド・ソル 作曲

献呈 (ピアノソロ)

シューマン=リスト 作曲

アルペジオーネ・ソナタ イ短調 作品821 より第1楽章

フランツ・シューベルト 作曲

ピアノ 伊東 茉帆 (いとう まほ)

武蔵野音楽大学を卒業。同大学院修士課程、博士課程ピアノコラボレイティヴアーツコースを修了。音楽博士(DMA)。

平成28、30年度福井直秋記念奨学金給費生。令和2年度日本学生支援機構大学院第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除」により全額免除。

第7回横須賀ピアノ音楽祭「スカピあ」オーディション・シニア部門合格。第2回K室内楽コンクールK室内楽賞。第22回大阪国際音楽コンクールアーリーミュージック部門(チェンバロ)入選。

東京フィルハーモニー交響楽団に鍵盤楽器奏者として客演している。

アンサンブル・ピアニストとしての演奏を中心に、古楽の分野でも活動を広げている。



ギター 熊谷 俊之 (くまがい としゆき)

昭和音楽大学短期大学部クラシックギター専攻一期生を経て、ウィーン国立音楽大学修士課程を審査員満場一致の最優秀で修了。

これまでにオーストリア、ノルウェー、スペイン、チュニジア、リヒテンシュタイン、ボリビア、ペルーなど世界各国の音楽祭に出演し好評を博す。

中でもウィーンでは楽友協会主催「若手音楽家」シリーズに選ばれ、弦楽四重奏を率いてリサイタルを行った。

2012年にファーストアルバム「ソナタ~ボッケリーニ賛歌~」、2019年には「トッカータ・ブラジリス」(マイスターミュージック)をリリース。ギターを高田元太郎、アルバロ・ピエツリ各氏に師事。第50回東京国際ギターコンクール2位を始め他多数の国際コンクールに入賞。昭和音楽大学講師。



優雅に響く記憶たち

雨だれop.28-15
(ピアノソロ)

F. ショパン 作曲

「魔笛から6つのアリア」より op.19
(ギターソロ)

F. ソル 作曲

第5組曲より「ラ・シルヴァ」、「ラ・ボワソン」

A. フォルクレ 作曲

「セビリアの理髪師」より序曲

G. ロッシーニ 作曲 F. カルリ 編曲

グランデ・デュオ・コンチェルタンテ

I. モンチェレス 作曲

ピアノ 永野 光太郎 (ながの こうたろう)

第2回オーストラリア国際ショパンピアノコンクールにおいて第1位。台北ショパン国際ピアノコンクールにおいて第1位。

第2回ハリーナ・チェルニー＝ステファンスカ記念国際ピアノ・コンクールにおいて第2位。東京ピアノコンクール第1位。第16回ショパン国際ピアノコンクールにおいてディプロマ賞など、数多くの国際コンクールで入賞。

現在、八王子音楽院で講師を務めている。同氏はチェンバロ奏者、製作家としても活動していて、J-city TOKYOチェンバロ プレジャー2014において第1位。2013年大阪国際音楽コンクールのチェンバロ部門で第3位。2014年第27回 国際古楽コンクール<山梨>チェンバロ部門においてファイナリスト。



Photo by S.Kuwajima

ギター 藤元 高輝 (ふじもと こうき)



これまでに村治昇、新井伴典、荘村清志、江間常夫、アンスガー・クラウゼの各氏に師事。

作曲を塩崎美幸、植田彰、伊左治直の各氏に師事。指揮を本多優之氏に師事。

2014年今村俊博とのパフォーマンスデュオ「s.b.r.」結成。2016年武満徹ギターソロ、デュオ全曲を収録した「武満徹ギター作品集」を発表。2019年19世紀のオリジナル楽器を使用したピリオド奏法による「フェルナンドソルギター作品集」を発表。趣味は囲碁。

ピアノとギターで紡ぐヨーロッパの音風景

格蘭・ワルツ (ギターソロ)

タレガ 作曲

サラバンド (ギターソロ)

プーランク 作曲

マズルカ (ギターソロ)

タンスマン 作曲

色とりどりの小品 Op.99より 第1曲・第3曲・第4曲 (ピアノソロ)

R.シューマン 作曲

シャコンヌト長調 HWV 435 (ピアノソロ)

ヘンデル 作曲

ギターとピアノのためのポプリ Op.53 フンメル 作曲

ピアノ 上下 玲奈 (じょうげ れな)

熊本市生まれ。5歳でピアノを始め、数々のコンクールで受賞。ピアノを中島和代氏、音楽理論・ソルフェージュを中島和宣氏に師事。九州音楽コンクール第1位、全日本学生音楽コンクール全国大会入選。

ドイツ・ヴァイマールのフランツ・リスト音楽大学ピアノ科卒業。在学中、ドン・ヴィンチェンツォ・ヴィエッティ国際音楽コンクールにて第3位(イタリア)。ドイツにてソロ・室内楽の演奏及びピアノ講師として活動し、2025年より日本を拠点に活動。



ギター 斎藤 優貴 (さいとう ゆうき)



ギター三大コンクールのひとつとされるミケーレ・ピットルーガ国際ギターコンクール(イタリア)で最高位を受賞。また、モットラ国際ギターコンクール第1位(イタリア)、コマルカ・エル・コンダード国際ギターコンクール第1位および課題曲賞(スペイン)、クリアカン国際ギターコンクール第1位(メキシコ)など、世界各地の国際コンクールでの受賞数は日本人ギタリストとして最多の55にのぼる。

これまでにドイツ、スペイン、フランス、イタリア、メキシコをはじめ、世界15ヶ国以上でコンサートやマスタークラス、コンクールの審査員を務める。2024年、川崎市アゼリア輝賞を受賞。